

人間関係は作るもの ～教育委員による出前授業～

6月30日（金）、教育委員による出前授業を実施しました。

兵庫県教育委員会のホームページ「兵庫県教育委員会のしくみ」に、「兵庫県教育に関することは、知事から独立した行政委員会である教育委員会が行っています。教育委員会は、教育行政事務を行う合議制の機関で、教育長及び5人の教育委員で構成され、教育の基本方針を決定します。」とあります。



そして、教育委員の活動の一つに、「県立学校の生徒を対象に学校現場において、教育委員がそれぞれの専門分野を活かした授業を実施する」出前授業があります。

このたび、教育委員の清水勲夫氏に本校へお越しいただき、2年生の生徒を対象として出前授業を実施していただきました。

清水勲夫教育委員は、兵庫県キャンプ協会副会長や兵庫県青少年本部理事、兵庫県生きがい創造協会理事などを歴任され、現在は野外活動協会専務理事をされています。青垣町にある丹波少年自然の家にもたびたびお越しになっているとお聞きしました。

出前授業のテーマは、「人間関係は作るもの ～生きる力、生きる知恵としてのリーダーシップ～」です。

【出前授業を受けた生徒の感想から抜粋】

- ・人間は「幸福」になりたいから生きているという言葉が心に残りました。
- ・生きることには問題解決能力が必要で、生きるとは自分らしく、またより幸福に生きることだと思いました。
- ・友人関係でも、誰かに引っ張られるだけの仲ではなく、自分の意見も言い合えるような平等な人間関係づくりをしたいです。
- ・人間関係は自ら作っていかなくてはならないというのがわかりました。誰にでも平等に関われるようになりたいと思います。
- ・私はお互いがあまり気をつかうことなく、楽に笑いあえるような人間関係を作っていきたいと思いました。
- ・ぼくは、しっかりと信頼できる友達をいっぱい作りたいと思いました。
- ・リーダーシップをとるということは試行錯誤をいっぱいしてきたということです。そこでぼくも試行錯誤をしようと思いました。
- ・自分の仲間たちとコミュニケーションをしっかりとってリーダーをしていきたいと思いました。



（校長 高橋信之）